

興津支所管内より



時間ができたら釣りに行こうかな

なかしま たかし
中嶋 崇さん (53)

ミョウガを生産している中嶋さんは、統合前の四万十農協の頃には理事として務められていました。奥様も女性部興津支部で活動されるなどお二人が様々な場面で農協活動に参加いただいています。今日は農薬を買いに興津支所購買にいらしてくれました。まだまだ暑い日が続きますがこれからもご活躍を応援しています！

また見に来てよ～！

つの たけお
(左) 津野 武雄さん (81)
えいこ
(右) 栄子さん (79)

津野町芳生野で土佐甘とう8アールと水稲を栽培する津野武雄さんと栄子さん夫妻。以前はミョウガを栽培していましたが、4年前から土佐甘とうに品目転換を行いました！

ハウスを訪問するといつもにこやかに出迎えてくれます。炎天下のハウス内はとても暑いので体調を崩さないように頑張ってください。

東津野支所管内より



高西
地区

から こんには 今月の〇〇 気になる人

四万十支所管内より



役に立てるよう頑張ります！

つぎた けいいちろう
次田 滉一郎さん (22)

土佐清水市出身の次田さんは、4月から新採用職員として高南農業改良普及所に勤めています。現在は先輩職員と農家さんへの巡回を行いながら、ニラや夏秋ピーマン、シシトウなどの品目について勉強中！目標は農家さんに頼りにされる職員になることだそうです。暑さに負けず頑張ってくださいね！

畑仕事が好きながよ！

にい やただお
(右) 新谷 忠夫さん (86)
こす え
(左) 小寿恵さん (83)

梶原町神在居の新谷忠夫さんと小寿恵さん夫妻は、露地栽培で土佐甘とう4アールを栽培しています。「農作業は毎日の元気の源！完璧にはようやらんけど、無理せんばあに頑張りたい」と楽しそうに語ってくれました。これからもコツコツ作業しながら元気に過ごしてください。

梶原支所管内より



できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！

5 四万十地域

ニラ部会総会を開催



今年度の情勢が報告されました

7月17日、四万十ニラ部会は通常総会を開き、出荷状況などについて報告を行いました。今年度のお荷量については、灌水チューブや電照など新技術の普及と併用して、出荷能力向上のためのそぐり機の導入が進んだこともあり、反当出荷量は過去最高となりました。今後は出荷場の整備を行うことや計量結束機の導入を目標とし、さらに集荷の効率化を図ってニラ産地を維持していくよう取り組んでいきます。

3 四万十地域

女性部 ムスイ鍋教室



ムスイ鍋調理の実演

7月27日、高西地区本部女性部の立西支部は、南川口地区の「和の家」でムスイ鍋講習会を行いました。コロナ禍でイベントなど部員の集まる機会が減る中、交流の場を作りたいと企画したもので、検温の実施やマスクの着用、手指消毒などの対策がとられました。会ではムスイ鍋を使った調理が紹介され、手早く風味を逃さない方法など、参加者は「家でもやってみたいね」と熱心に聞き入っていました。

6 津野山地域

GAP(環境点検) 巡回を実施



農薬の流出防止に取り組んでいきましょう

津野山営農経済センターは7月10日、13日の2日間に渡り生産者のGAP巡回を実施しました。JA経済センター、須崎農業振興センターの職員が管内全地区の部会生産者を訪問し、圃場や収穫物の調整場、農薬保管庫等の管理状況を確認しました。特に農薬や肥料等の流出や調整場の衛生状況などには十分注意していただくようお願いしました。中には農薬袋をシップロックなどで包み飛散・流出防止に努めている生産者もあり、取組みに一定の効果を感じています。津野山地域では安心・安全な野菜の生産出荷の見本となる取組を進めていきます。

4 津野山地域

高知県茶品評会に出展



1点ずつ香りを確認しました

7月31日、吾川郡仁淀川町で開催された「高知県茶品評会」に津野山管内から4点の荒茶が出品されました。県内からは計39点の出品があり、7人の審査員が見た目や香り、味を審査しました。今年度は遅霜の影響等で県内各産地ともに厳しい生産量、品質となつていきます。津野山地域のお茶は惜しくも入賞を逃しましたが、この品評会の結果を糧に、次回こそは入賞を目指し高品質な茶の生産に励んでいきます。



美味しそうなお寿司が出来上がっていきます

1 四万十地域

和気あいあい 女性部の田舎寿司作り

8月3日、農協会館で女性部の田舎寿司作りが行われました。JAの月刊誌「家の光」の特集取材の為、女性部員10名が腕を振りました。四万十地区の女性部は、地域ごとの支部に分かれ、手芸教室の開催、ホウ酸団子づくりなど1年を通し様々な活動を行っています。町のお祭りやイベントでは料理を作って販売するほか、鳴子踊りへの参加、講演会の開催や手芸作品の展示発表など支部の枠を超えて集まる機会もあり、部員同士の交流も深めています。田舎寿司作りでは、部員同士で味付けや盛り付けのコツなどを教え合いながら、しいたけ、ミョウガやリユウキウなど高知ならではの具材の寿司を手際よく仕上げていきました。卵や昆布といった馴染みの巻き寿司のほか、切り口が花模様になるように工夫した海苔巻きとともに盛り付けられ、色どりも豊かな皿鉢が完成しました。今回の田舎寿司の作り方は、家の光11月号に掲載される予定です。



たくさんのシントウを収穫しました

2 津野山地域

農家へ弟子入り

7月から地域で栽培されている基幹品目について学習してきた津野町立中央小学校6年生は、夏休みの期間を利用して農家への「弟子入り」体験を行いました。ミョウガ、シントウ、土佐甘とう、畜産の農家に分かれ、農作業を通じて栽培の苦労や楽しみ、やりがいを知り、農家を将来目指す職業の1つとして考えてもらいたいと始まった取り組みです。8月4日、津野町芳生野で露地シントウを栽培する山本純央さんの圃場では、さっそく3人の生徒が収穫体験をしました。朝8時から約1時間半かけてコンテナ1杯分のシントウを収穫しました。多い時にはコンテナ4杯分の収穫があるそうです。収穫後はJAへ出荷する前の選別作業を行い、曲がり果や傷のついた果実を取り除きました。一通りの作業を体験した生徒からは「農家さんの苦労や工夫も学べた。収穫作業は暑かったけど、楽しくて手が止まらなかった」と感想を聞かせてくれました。

四万十地域より

夏秋ピーマンを栽培してみませんか？



管内の夏秋ピーマン栽培は約25年前から始まり、生産者・面積ともに年々増加し、平成29年度から3年連続で販売金額1億円を突破しています。生産技術も年々向上してきており、部会では更なる所得の向上を目指して取り組んでいます。

是非、夏秋ピーマン栽培を始めてみませんか。

【栽培のながれ】



【出荷調整作業】

四万十夏秋ピーマンの出荷作業は全て農家による「個別選果（袋詰め・箱詰め）」を行っており、栽培規模は選果の作業性も考慮して決めてください。

【10aあたりの生産収支の目安】

| 収入 | | 露地栽培 | 雨よけ栽培 |
|-------------|-----------|-----------|-----------|
| | 出荷数量 (kg) | | 6,000 |
| 平均単価 (円/kg) | | 346 | 361 |
| 精算金額 (円) | | 2,200,180 | 3,696,900 |

※過去3カ年の平均数値を参照しています。

| 費用 | | 金額 (露地栽培) |
|--------------|-----------|-----------|
| | 種苗代 (購入苗) | |
| 肥料代 | | 160,000 |
| 農薬代・雇人費・資材代等 | | 590,000 |
| 合計 | | 970,000 |

※栽培管理・天候等によって農薬代・肥料代など変わりますのであくまで目安となっております。

※雨よけ栽培は別途施設費等が必要です。

興味のある方は下記までご連絡をお願いします。

(お問い合わせ) ☎ 0880-22-5179 JA高知県四万十営農経済センター 永野



津野山地域より

加工用ワサビ栽培

生産者募集

津野山地域の特徴

津野山地域は、高知県の梶原町と旧東津野村（現在の津野町の西半分）をあわせた地域で、四万十川源流の澄んだ水と、四国カルストの麓・豊かな自然環境のもと、園芸作物では主に米ナス、小ナス、シシトウ、土佐甘とう、ミョウガなどを栽培しています。今回は津野山地域の冬場でも栽培できる貴重な品目である「加工用わさび」の生産者を募集します。興味のある方は気軽にご相談ください。

【栽培スケジュール】

| 作目 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 |
|--------|------|-----|-----|-------------------------|----|----|------|----|-------------|
| 加工用わさび | 圃場準備 | 定植 | | かん水・追肥 温度管理 病害虫防除 | | | 収穫調整 | | 栽培終了 片付け |

【1aあたり生産収支の例】

| 収量 | kg単価 | 売上 | 経費 (約30%) | 精算額 (所得率 約70%) |
|-------|------|-------|-----------|----------------|
| 350kg | 330円 | 約12万円 | 約4万 | 8万円 |

※この経営収支は津野山地域の過去の実績を基に算出しています。収量や所得を保証するものではありません。

【栽培のメリット】

- ・遊休施設の有効利用が可能である
- ・冬場の津野山地域でも栽培可能であり複合経営の補助品目となる
- ・栽培コストが低い
- ・契約栽培のため価格が安定している。



—問い合わせ先— JA高知県津野山営農経済センター 営農指導課
高知県高岡郡津野町北川2281-4 TEL (0889) 62-2335 FAX (0889) 62-2381

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

俳句

霧の里句会

夏草活け野に漂泊の思ひして
子等集ひキャンプの匂ひ満つる庭

武政 礼子

空ろなる老婆の上に竹落葉

一時の風のだんまり梅雨晴間

市川 和美

茄子の花母や祖父母の畑を守る

十葉や磯辺の媪求め来て

今橋 孝子

ブロッコ塀覆ひつくせし凌霄花

梅雨晴間子猫に指を吸はれをり

田中 信子

梅雨晴に坂道そろそろ吾百寿
七夕や亡き夫偲ぶ昨日今日

竹内 春猪

そら豆やふくよかなりし母の顔

月涼し母の呼び声二度聞ゆ

西宮 正衛

ほどほどの間合ひの集ひ夏料理

合歡咲くやなか空に浮く紅淡し

長谷部 延子

短歌

窪川短歌教室

トレッキングシューズ手入れすまいちど仲間と樹林歩く日のため

黒岩 やよえ

あと半年の命と知りし妹はふるさとの桜しみじみと見る

岩井 房子

突然に愛犬はなが天国へひとひのうちに変わりしくらし

中内 佐登美

春の雨空を洗いて白群の水奔りゆく四万十川を

文野 見枝子

ヨチヨチと歩くひ孫のニューバランスわらじの感触フツとよぎりぬ

岡村 香代子

近々と絵に近づきて涙する婦人と吾と 無言館展

市川 隆子

宮崎と聞きて偲びぬ山深き椎葉の里に住むという友

北村 さちこ

うす雲のしだいに濃さを増しきたり梅雨の中休み二日で終る

市川 浩子

雲間より啓示のごとく金色の光が射すを慎みて見る

島岡 紀美

【各支所連絡先】

四万十支所(旧JA四万十本所)

0880-22-0003

梶原支所(旧JA津野山本所)

0889-65-0111

興津支所

0880-25-0002

東津野支所

0889-62-2211

大野見支所

0889-57-2321

葬祭会館 ルミエール四万十

0880-22-5900

(株)JAメモリアルこうち 津野山出張所

0889-40-1955

事故受付など 高西サービスセンター

0889-40-4141

おたよりから

高知県の農業に携わる若い人の写真を見て、微笑ましく、癒されます。
(梶原町・82歳・女性)

今ミヨウガにはまっています、みどり市でミヨウガ、大葉、キュウリ
を購入しほぼ毎日食べています。農家の皆さんに感謝の日々です。
(四万十町・57歳・女性)

俳句

夏マスク受話器に無事をたしかめる

(津野町・宇都宮 由利子)

落ちた美に我一番と甲虫

(津野町・弘瀬 秀頼)

老鷺の渡る小道の岸を刈り

(津野町・村田 三喜子)